

$$12 \times 13 = (12 + 3) \times (2 \times 3) = 156$$

この方法を用いて60問を3分でやるノウハウの紹介です。

ノウハウといってもそれなりの努力は必要です。

そして、全問正解する意欲も必要ですから、間引きや好き嫌いはダメです。

**その1**：問題のどちらかに10があれば単に10のない数字に0を付けるだけです。

**その2**：10の位の2乗は記憶しましょう。

$$\begin{array}{lll} 11 \times 11 = 121 & 12 \times 12 = 144 & 13 \times 13 = 169 \\ 14 \times 14 = 196 & 15 \times 15 = 225 & 16 \times 16 = 256 \\ 17 \times 17 = 289 & 18 \times 18 = 324 & 19 \times 19 = 361 \end{array}$$

**その3**：一方の数字が19の場合です。

$$13 \times 19 = (13 \times 20) - 20 + 7 = 247$$

19でない方の数字13を20倍します。

その答えから13を引くのですが、まず一律に20を引き、そして13と20の差である7を足します。

(13を引いて直接答を出す方と、どちらかスムーズな方法を採用しましょう)

この方法を推奨できるのは次の場合です

$$\begin{array}{llll} 12 \times 19 = & 13 \times 19 = & 14 \times 19 = & 15 \times 19 = \\ 16 \times 19 = & 17 \times 19 = & 18 \times 19 = & \end{array}$$

**その4**：それ以外は基本に則ってやります。そのときのノウハウは、

$$17 \times 18 = 306 \quad \text{を例に説明しましょう。}$$

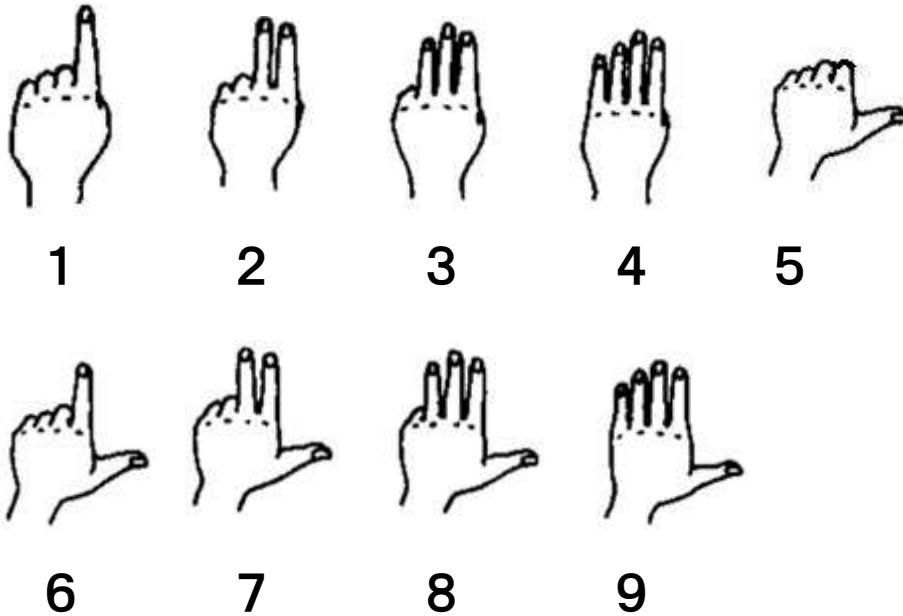
(1) 本来は、 $17 + 8 = 25$ に、 $7 \times 8 = 56$ を結合するのですが、56は桁上りしていますから、25の1の位の5に5を足す必要があり、混乱が生じます。

そこで、先に $7 \times 8 = 56$ を計算し、6を解答欄の右寄りに記載します。そして、桁上りのある5は小さく書いておきます。次の $17 + 8 = 25$ に小さく書いた5を足して、3の左に30を記載し、306を得ます。

(2) 小さく書く5は、答と間違われますし、書くのにも時間を取られます。そこで指文字を利用します。

指文字とは指の形で文字や数字を表すものです。文字の理解は練習が必要ですが、数字はそのままで、簡単でしょう。

1から9までは、次のとおりです。



指の形が数字を表していますから、説明は不要でしょう。親指は5を表します。これは、算盤の珠をイメージすればよいでしょう。

そうすると先ほどの、 $17 \times 18 = 306$ は、 $7 \times 8 = 56$ で、6を書き、左手（筆



記具を持っていない手) で5 を表します。そして、 $17 + 8 = 25$ と5を足し、30を得、先ほどの6の左に30を書き、終了です。

### 【練習】

$11 \times 19 =$

$14 \times 19 =$

$16 \times 18 =$

$14 \times 12 =$

$10 \times 14 =$

$13 \times 18 =$

$17 \times 17 =$

$15 \times 11 =$

$12 \times 16 =$

$17 \times 15 =$

$18 \times 10 =$

$16 \times 19 =$

$17 \times 14 =$

$19 \times 13 =$

$18 \times 11 =$

$17 \times 12 =$